

大阪市 中 教 研 会 報

No. 133

編集者 大阪市立中学校教育研究会
発行人 大阪市立中学校教育研究会
会長 松 井 宏 之
発行所 大阪市立中学校教育研究会
大 阪 市 立 南 中 学 校
TEL 6271-1456



生徒の健全な 育成のために

大阪市教育局委員会事務局 指導部

学校教育推進担当部長 渡瀬 剛 行

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

会員の先生方におかれましては、各教科・領域での理論の構築と調査・研究ならびに授業実践等に取り組まれるとともに、教育改革に即した研究活動を推進され、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、これまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申しあげます。

近年、人口減少社会の到来や、グローバル化の進展、また AI（人工知能）の発達、さらには、我が国がめざす未来社会の姿として提唱された Society5.0 の実現に向け、社会が大きな変革期を迎え、教育現場の果たす役割が増大しています。

さて、各校におかれましては、「大阪市教育振興基本計画」に基づき様々な課題の解決に向け、教育実践を推進されております。また、教育委員会としても同計画を「改革の第2ステージ」と位置づけ、子どもの安全・安心と学力・体力の向上に直接的な効果の見込める施策を進めるとともに、同計画の中間見直しに向けた取組についても進めているところです。

本市の生活指導上の諸課題に関しては、暴力行為は減少傾向にあり、いじめの認知は高い数値を示し、不登校については増加傾向となっています。いじめについては、各中学校において、軽微なものも見逃さず、生徒の状況を丁寧に把握するとともに、その対応について「大阪市いじめ対策基本方針」に則った対応となるよう努めていただいております。一方、増加傾向にある不登校生徒の現状については、本市の大きな課題となっております。各中学校においても「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨を踏まえた不登校生徒への支援の充実にも努めていただいております。また、未

然防止の取組としては、「新たな不登校を生まない魅力ある学校づくり」が重要であると言われています。学校における安全安心な学習活動の中で、「授業がよくわかる」「学校が楽しい」と生徒が感じ、明日もまた学校に行きたいと思うことができるよう、日々の授業や行事を通して生徒達の「居場所づくり」「絆づくり」に努めていただきますようお願いいたします。

一方、体力・運動能力向上のための取組では、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果を一つの指標として、各校において、創意工夫を凝らした体力向上アクションプランを作成するとともに、PDCA サイクルの確立に取り組んでいただくようお願いをしております。

また、体力合計点の本市平均が年々向上し、生徒質問紙調査結果における「保健体育の授業は楽しいですか」の質問においても、肯定的な回答をしている割合が年々増加しております。これは、先生方が本市、学校、生徒それぞれの課題に応じて、授業の工夫改善に取り組んでいただいた効果と認識しております。

教育委員会といたしましても、関係団体と連携しながら、生徒への実技講習会や教員の授業力向上に向けた実技研修会を開催するなどし、生徒自らが、生涯を通じて、スポーツに興味・関心を持つことができるよう取組を続けてまいりたいと考えております。

また、各学校現場におきまして、これまでの保健体育の授業内容に、令和3年度の新学習指導要領を見据えた「主体的・対話的で深い学び」を取り入れ、あらゆる角度から体育的教育活動を実践した効果的な取組の充実をお願いいたします。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、「自ら学ぶ力」を育み、創造性豊かな個性あふれる子どもたちの育成をお願いいたしまして、私のご挨拶といたします。



つながりあう授業を目指して ～ICT活用とともに～

大阪市立中学校教育研究会 副会長
全市研究発表会担当 生 長 政 彦

中教研の会員の皆様には、平素より各研究部の活動等にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、二学期早々の各ブロック研究発表会に続き、10月9日(木)を中心とした日程で、今年度も全市研究発表会が開催されます。各研究部の日頃の実践や研究の成果が発表されたいへん貴重な場です。ご多用とは存じますが、多くの会員の皆様のご参加をお願いいたします。

本年度の研究テーマは、『「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」～主体的・対話的で深い学びの充実に向けて～』となっています。昨年度までの実現に向けてから充実に向けてと進化したテーマを受け、これまでの「生きる力」の育成に取り組んできた教育活動をより一層充実させていくことが求められています。その中で、ICTの活用は、今までできなかった表現方法やわかりやすく見やすい画像による授業の工夫、そして、教材研究の多様性と使い方によっては授業のスピード化も図れるようになりました。小学校ではプログラミング教育の導入により思考力、判断力、表現力の向上に期待が込められています。今後さらなるICTの活発な活用は、様々な可能性を秘めた必要不可欠なものとなっています。ただ、パソコン教室やタブレットを使用した授業では、その使い方によって生徒が先生の顔を直接見る時間が減ってしまっているような気がします。パソコンやタブレットをにらんで一人一人が夢中に学習する中、先生がマイクで説明する、画面を使って補足するなど先生に注目させるよりも機器中心に機械的に授業が進んで行く授業になってしま

うかもしれません。ベテランの先生の授業の中には、まるで見てきたかのような語り部のように歴史を語る授業、前の日に遅くまで残って作ったカードや資料を手に教室狭しと全体を使って表現する授業、フリートークで生徒との会話中心の授業など先生による一方的な場合や、收拾のつかないにぎやかな授業になることもあります。でも、どんな状態であろうと生徒たちが先生の顔をしっかりと見ている様子、生徒と先生が直接やり取りをしている様子は授業の基本ではないかと思わされます。ICTをより効果的に活用していくためにもこの人対人の直接的で温もりのあるつながりを忘れてはいけいではないのでしょうか。ネット社会の拡大やスマホの普及などにより人とのつながりを電子に頼る機会の増えた今の世の中であればこそ、ICT機器の機能に頼り切るのではなく、人と人とがつながることができるようにICT機器をうまく利用する必要があります。そして、その取り組みがコミュニケーション力を育て、人間関係のバランス感覚を養い、生きる力の育成につながっていくのではないのでしょうか。今まで貫いてきた授業方法に幅を持たせ、より子どもたちを引き付けられるようにするために、そして先生と生徒、生徒と生徒を授業の中でつなげていけるツールとしてこの先ICT機器をどのように有効活用できるのかをより一層研究し実践していく必要があります。今後とも新学習指導要領をふまえたより積極的で実践的な研究活動が推進できますようご協力のほどよろしく申し上げます。

新 ブ ロ ッ ク 委 員 長 の あ い さ つ

＝第1ブロック＝

「カリキュラム・マネジメントの充実をめざして」

－新学習指導要領を見すえ、社会に開かれた教育課程の確立－

委員長 角 芳 美 (咲くやこの花中)

新たな学習指導要領を確実に実施するためには、教育課程を中心に学校の教育活動全体の質的な向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の実現や、「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」

を着実に進める力が求められます。そのことをふまえ、第1ブロックでは、研究テーマを昨年度と同様「カリキュラム・マネジメントの充実をめざして」とし、9月3日を中心に各教科・領域で研究発表会を実施しま

した。各会場には、多数の会員の皆様にお集まりいただき、有益な相互研鑽の場としていただきました。

学校教育を取り巻く環境が大きく変化していく現在、私たち教員一人ひとりに求められるのは学び続ける姿勢であり、本研究会が果たす役割はますます大きいと

感じています。各部会の研究活動が、日々の教育実践に生かされ、すべての子どもたちがいきいきと活動し、活力あふれる学校づくりにつながる成果となるよう期待しています。

=第2ブロック=

「子どもたちの学びが深まる授業の工夫」

委員長 平 田 武 司 (城 陽 中)

5月31日に城陽中学校において第2ブロック委員全体会を行いました。そこで、今年度の第2ブロック研究主題を「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」～主体的・対話的で深い学びの充実に向けて～とし、8月30日を中心に研究発表会を実施しました。第2ブロックでは教科と領域の発表を隔年で行っており、今年度は教科の発表年度でしたが、一部領域からも発表

がありました。

各研究会場には多くの会員の皆さまにご参加いただき、相互交流を通じて、子どもたちの学びが深まる授業の工夫が推進できたと考えています。研究会で得た指導方法や知識を、各学校でこれからの実践に活かしていただけることを期待しています。

=第3ブロック=

「確かな学力の定着と豊かな心をはぐくむ教育の創造」

委員長 吉 本 博 志 (市岡東中)

第3ブロックは研究主題を「確かな学力定着と豊かな心をはぐくむ教育の創造」とし、5月28日(火)に市岡東中にて総会をおこない、8月30日(金)にブロック一斉の研究発表会を実施いたしました。

今年度は教科中心の年度でしたが、領域からも多くの発表会を実施し、多くの教職員がそれぞれの会場に集うことができました。

教職員が関心や意欲を持って研修に参加、交流を深

めることが、子どもたちの関心・意欲を高めることのできる授業を創造することができ、本ブロックが掲げている「確かな学力の定着、豊かな心を育む」ことができると考えています。これからも各研究部門で、私たちがより深い学びをすることができる研修を企画し、新学習指導要領にうたわれている子どもたちが「主体的で深い学び」につながるよう支援していきたいと思っています。

=第4ブロック=

「安全な社会で心豊かに力強く生き抜く力をはぐくむ教育の創造」

委員長 土 屋 雅 (大 桐 中)

第4ブロックでは、本年度も昨年度に引き続き「安全な社会で心豊かに力強く生き抜く力をはぐくむ教育の創造」を研究主題に設定し、各教科・領域で実践・研究に取り組んでおります。

9月3日(一部別日程)には、各部門の研究活動の更なる充実・発展を目的に、「第4ブロック研究発表会」を開催させていただきました。特に、各教科の発表では、2年後に全面実施となる新学習指導要領にむ

けた、「主体的・対話的で深い学びのある授業」の実践報告が多くみられ、参加者相互に研鑽を重ねる有意義な機会となりました。

指導助言、ご講演いただきました講師の先生方をは

じめ、授業者・発表者の先生方、準備から当日の運営にご尽力いただいた専門委員の先生方、さらには、学期初めのお忙しい中、ご参加いただいた会員の皆様にお礼申し上げます。

＝第5ブロック＝

「主体的な学び・活用能力を進化させ、 社会の変化に対応できる教育を創造する」

委員長 渡 邊 進 司 (新生野中)

6月20日、新生野中学校にて中教研第5ブロック委員全体会を開催いたしました。昨年度の研究主題を継承しながら、研究主題を本年度は、「主体的な学び・活用能力を進化させ、社会の変化に対応できる教育を創造する」次なる世代に意識を持ち新たな学びに挑戦する研究活動にするとして設定いたしました。第5ブロックでは、この研究主題に基づき本年度9月3日に、領域を中心とした研究発表会を実施いたしました。

未来を切り拓く力をはぐくむための主体的で対話的

で深い学びを基礎にし、当日は領域の他、英語・音楽の教科の発表がありました各会場において活気ある研究討議が実施されました。生徒たちの将来・未来を見据えながら新たな社会に対応できるスキルをどのようにして習得させることが出来るのか、我々の自己研鑽と共に、相互研鑽の場として有意義なブロック研究会でした。本研究発表会が、各校での実践につながることを強く願っています。

＝第6ブロック＝

「生徒の個性を生かし、主体的に学ぶ意欲を育てる 教育活動の研究と推進」

委員長 浅 埜 高 司 (長吉中)

5月31日(金)に長吉中学校において第6ブロック委員全体会を開催し、昨年度に引き続き研究主題を上記の通り設定いたしました。このテーマに基づき、各部門が研究主題を設定し8月30日(金)を中心にブロック一斉研究発表会を実施しました。各会場において専門委員の先生方が中心となり、公開授業・研究協議・生徒会交流会・講演会・施設見学等様々な研修が実施され

ました。会場にはたくさんの会員の皆さまにご参加いただき相互研鑽の場としていただきました。

2年後の新学習指導要領全面实施を見据え「新しい学びのスタイル」を取り入れた授業改善や「新しい学び」の創造に向けた研究活動を今後さらに各学校での充実、実践に生かしていただけることを期待しています。

＝第7ブロック＝

「豊かな心を育み、個に応じた学ぶ意欲を高める 教育活動を創造する」

委員長 二 井 敦 子 (東我孫子中)

本年度、第7ブロックでは継続して「豊かな心を育み、個に応じた学ぶ意欲を高める教育活動を創造する」を研究主題と設定しました。5月28日(火)に総会を開催し、各教科・領域で計画を立て、9月3日(火)を中

心に研究発表会を実施しました。(別日程で実施した教科・領域もあります。)今年度より参加の水都国際中学校との積極的な交流も進めているところです。

各会場において、専門委員の先生方が中心となり、

研究授業・研究討議・生徒会交流会・講演会・実技研修・実践報告・研究発表・施設見学等、さまざまな研修が実施されました。たくさんの会員の皆様にご参加

いただき、相互研鑽の場としていただきました。今後、さらに各学校での実践に生かしていただけることを期待しています。

＝第8ブロック＝

「豊かな心と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」

委員長 竹内直樹（高津中）

第8ブロックでは、昨年度に引き続き研究主題を「豊かな心と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」と設定しました。この研究主題に基づき、各教科・領域で部門別研究主題を設定し、8月30日（金）に16部門において研究発表会を実施しました。（別日程で実施した教科・領域もあります。）

発表会当日は多くの先生方にご参加いただき、公開・研究授業をはじめ、教育実践の発表や研究協議、講演

や見学、実技研修・交流会など、さまざまな形で研鑽を深めていただきました。事後アンケートでは「新たな発見があった。」「今後の授業に役立つ内容だった。」などの感想が多数寄せられ、各部門の発表会が盛り多い内容であったと実感しております。

今後も、研究の成果を各校の実践に活かしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和元年度 大阪市立中学校教育研究会 評議員会記録

【第3回】 令和元年7月8日（月） 16時～

評議員会及び会計説明会 〈於：大阪市教育センター〉

〈会計説明会〉

- (1) 令和元年度 予算配分について
- (2) 事業予算、予算執行について
- (3) 資金移管書・受入書、金銭出納簿、
配付予算精算書について
- (4) 資金移管日時等について
- (5) その他

〈評議員会〉

- (1) 全市研究発表会について
- (2) その他
 - ① 役員、専門委員一覧表について
 - ② 全国・近畿大会予定について
 - ③ 部門別研究主題、ブロック別研究主題及び
研究発表会予定日一覧について
 - ④ 中教研会報No.133号の原稿作成について

【第4回】 令和元年9月2日（月） 16時～

〈於：大阪市教育センター〉

(1) 全市研究発表会【10月9日（水）】について

(2) 各ブロック研究発表会について

(3) 研修計画について

① 全体研修会【11月14日（木）】

② 評議員研修会【1月24日（金）】

(4) 研究集録『研究の歩み』『会報』の作成
について

(5) 小中一貫教育委員会の開催について

(6) その他

① 会計事務連絡

② ホームページについて

令和元年度 研 究 発 表 会

10月9日(水) 午後1時30分～5時

部 門	研 究 主 題	内 容	会 場
1. 国 語	「生きる力」としての 国語力の育成 ー 自分の思いや考えを深める 言語活動の充実 ー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公 開 授 業 「漢詩を通じて情景・情感を想像し、短歌で表現する言語活動 ～漢詩から歌物語を作り、本歌取りをしよう～」 瓜破西中 広瀬 章 子 ・授 業 提 案 『書く力』をつけるための実践例 ースモールステップで進める『書く』ための手だてー 指導部学力向上指導室 後 藤 准 子 ・質 疑 応 答 ・研 究 協 議 ・講 話 「文学を読むことの意味 ー『語る力』を育てるー」 大阪教育大学教授 住 田 勝 様 ・あ い さ つ 大阪市教育センター 指導主事 石 田 かおり 様	瓜 破 西 中
2. 社 会	「持続可能な社会の形成者として、社会的な見方・考え方を深める社会科学習」 (学力向上《授業デザインやカリキュラム構築のための研究》)	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公 開 授 業 ・地理的分野「アジア州」 巽 中 末 森 信 志 ・研 究 発 表 ・基 調 提 案 天王寺中 辻 純 也 ・資 料 説 明 (地理的分野) 咲くやこの花中 川 村 由美子 (歴史的分野) 淀 川 中 土 倉 ゆかり (公民的分野) 我孫子中 仲 美由紀 ・研 究 協 議 ・指 導・講 評 大阪市教育センター 総括指導主事 小 野 寺 健 様	巽 中
4. 理 科	「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う理科教育」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公 開 授 業 「空気中の水の変化 雲のでき方」 やたなか小中一貫校(矢田南中) 岡 山 友 樹 ・研 究 協 議 やたなか小中一貫校の理科教育について やたなか小中一貫校(矢田小) 穴 戸 健 太 本日の公開授業について やたなか小中一貫校(矢田南中) 岡 山 友 樹 ・質 疑 応 答 ・講 演 会 大阪成蹊大学教育学部 講師 福 岡 亮 治 様 ・連 絡 事 項 ・あ い さ つ 大阪市教育センター 総括指導主事 岡 本 和 也 様	や た な か 小 中 一 貫 校 (矢 田 南 中)
5. 音 楽	「未来を切り拓く、豊かな感性を育む音楽教育の創造」 ー主体的・対話的で深い 学びの実現に向けてー	・公 開 授 業 1 年歌唱 題材名「作曲者の意図を感じ取り、混声三部合唱の響きを工夫して歌おう。」 教材名 Let's Search For Tomorrow 作詞 堀 徹 / 作曲 大澤 徹訓 港 南 中 村 上 研 一 ・研 究 発 表 「小中一貫校としての小学生とのかかわり」 南港南中 沖 正 樹 ・研 究 協 議 (ワークショップ) ・指 導・講 評 大阪教育大学特任教授 田 中 龍 三 様 ・あ い さ つ 大阪市教育センター 指導主事 安 藤 寛 様	港 南 中
6. 美 術	「社会とつながる美術教育をめざして」 ー未来を切り拓く子どもたちの育成ー 〔新学習指導要領をふまえた表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指す〕	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公 開 授 業 「新種発見?！魚の標本」 北 稜 中 宮 田 久美子 ・研 究 発 表 「鑑賞教育をみつめる」 大 桐 中 東 影 美 香 ・研 究 協 議 ・あ い さ つ 大阪市教育センター 指導主事 當 銘 真衣子 様	北 稜 中

7. 保健体育	「保健体育科授業における学習意欲を高める主体的・対話的で深い学びの創造」 ー陸上競技(ハードル走)の指導方法の研究ー	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公開授業 「陸上競技(ハードル走)の指導方法の研究」 住吉中 安田 尚 生 ・伝達講習 (1) 体づくり運動 歌島中 古澤 真也 (2) 保健学習について 瑞光中 福西 唯 ・公開授業に関する研究協議 指導助言 大阪教育大学 准教授 井上 功一様 ・質疑応答 ・あいさつ 大阪市教育委員会 指導主事 糸川 浩平様	住吉中
8. 技術・家庭	「豊かな生活を創造する力を育む技術・家庭科教育」 ー主体的な学びによる課題解決学習ー	・公開授業 ・家庭分野 B 衣食住の生活 (3) 日常食の調理と地域の食文化 ア (ア) 用途に応じた食品の選択「選ぶならどれ？」 ーしゅうまいのウマイ選び方ー 長吉西中 栗本 佳奈 ・研究発表 ・技術分野 C エネルギー変換の技術 豊かな生活を創造する力を育む技術・家庭科教育 ー深い学びへつなげる ゲルマニウムラジオの再考ー 三 国 中 浦 部 悟 ・質疑応答 ・研究協議 ・あいさつ 大阪市教育委員会	長吉西中
9. 英語	「英語で積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する」 ～5領域のコミュニケーション能力を総合的に養う～	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公開授業 「基礎的な英語力の定着のため、教材を繰り返し学習する授業構成の工夫を通して」 春日出中 竹島 朱美 ・講演 大阪成蹊大学 副学長 國方 太司様(予定) ・質疑応答 ・講評 ・あいさつ	春日出中
10. 道徳	「人間としての生き方についての自覚を深める道徳教育の創造」 ー豊かな心を育む道徳の授業づくりをめざしてー 〔道徳授業の指導方法と評価に関する研究を深める〕	「がんばる先生支援事業」研究発表会 ・公開授業 「ぶれない心」 ー松井 秀喜ー 下福島中 中馬 佳菜 ・班別研究協議 ・指導・講評 大阪市教育センター教育指導員 宮脇 賢治様	下福島中
11. 特別活動	「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」	・研究発表 1. キャリア教育 ① キャリア教育ご講演 講演内容 「生き方をつくるキャリア教育 ～現状をめざす状態をつなぐ一歩～」 講演者 NPO法人 JAE 理事 塩見 優子様 (認定キャリア教育コーディネーター) 2. 生徒会活動に関する実態調査結果 研究内容発表 「生徒会活動の指導法 ～あいさつ運動を例にして～」 分析者 大阪市立大学大学院文学研究科 教職カルテ特任講師 小原 淳一様 ・質疑応答 ・指導助言 ・あいさつ	大阪 教育センター 研修室61
13. 特別支援教育	「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」	・研究発表 (1) 不登校から高等支援学校進学へ ー私、がんばる！ー 住吉中 麻生 詩織 松 中 辻 藤 子 (2) 不登校生徒への対応についての一考察 ー大阪市5Bの取組、実践報告ー 東生野中 浅野 優 生野中 左海 晃 桃谷中 岡本 賢 大池 伊原 ゆり 巽 中 松田 裕貴 ・研究協議 ・講評 大阪市教育委員会	大阪 教育センター 2F講堂

14. 保健養護	「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」	・第7ブロック共同研究 「生徒保健委員会活動の活性化をめざしてーピア・サポート活動を活用した保健教育ー」 真住中原康子 梅南中高橋晴香 東我孫子中 中島未央 ・講演 「子どものWell-beingを育もう」 立命館大学教職研究科 教職大学院教授 菱田準子様 ・研究協議 ・指導講評 大阪市教育委員会 指導主事 西木澄江様	大阪 教育 センター 51 市
15. 情報技術	「多様化する情報を活用する力を身につける」	情報教育部門 ・研究発表 「(株)SKYによるタブレット活用の実演および実習」 梅南中 加治屋直喜 新聞教育部門 ・7月30日(火)・31日(水)に開催された第62回全国新聞教育大会の報告 (全国新聞教育大会～北海道・十勝・帯広大会から～) 都島中 井口信茂 統計教育部門 ・講演 演『数字で解説!「こども本の森 中之島」』 大阪市経済戦略局係長 福田恵様 東住吉中 小寺英一朗	今 宮 中
16. 教育メディア	「生きる力」と「感動する心」を育む教育メディアの研究ー学校図書館・放送・視聴覚教育を通してー	・あいさつ ・講演 演「NHK for School」 基礎セミナー 講師 NHK 放送教育広報部 様 ・ワークショップ ・質疑応答 ・あいさつ ※ 開会は 14:45 からです。	淡 路 中
17. 教育課題	「未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成」	・講演 演 学校と保護者のいい関係づくり ートラブルを大きくさせないために学校が気をつけるべきことー 大阪大学大学院 教授 小野田正利様 ・質疑応答 ・あいさつ	大阪 教育 センター 41 市

10月9日とは別に実施された又は実施される部門

日程	部門	研究主題	内 容	会 場
7月5日 (金)	12. 生活指導	「生活指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」	・講演 演 演題 「ラグビーで育つ人間力」 講師 常翔学園高等学校 社会科教諭 ラグビー部部長・監督 野上友一様 ・研究発表 1 「生活指導に関する現状把握とその考察」 ー知識と知恵と見識とー 瑞光中 羽原義章 ・研究発表 2 「実践報告PBSを活用した学校づくり」 ー地域と共にある学校づくりに向けてー 井高野中 谷川雄一 ・質疑応答 ・各府県市情報交換 ・指導助言 ・閉会あいさつ ・次期開催地あいさつ 大阪市教育委員会	大阪 教育 センター 1 市
11月15日 (金)	3. 数 学	「未来を創造する数学の主体的・対話的で深い学びをめざして」	「がんばる先生支援事業」研究発表会 令和元年11月15日(金)に開催される「第66回 近畿算数・数学教育研究大阪大会」と兼ねて開催します。 ・公開授業 1年「平面図形」 ○図形の移動 天満中 野崎智亨 天王寺中 中村颯志 2年「データの比較」 ○四分位範囲や箱ひげ図 瓜破中 大迫裕也 夕陽丘中 永安仁詩 ・研究発表 「数学的に考える力を育む授業の創造 ー課題を自立的、協働的に解決する力の育成に向けてー」 大桐中 辰巳慎太郎 ・研究協議 ・指導助言 大阪市教育委員会他 近畿各教育委員会	天王 寺 中